

評 価 基 準 委 員 会

評価基準委員会委員長 佐藤 栄一

◇評価基準委員会の役割

競売不動産評価基準並びに競売評価書標準書式の作成や見直しを行うとともに、これらの運用の深化を図ることが使命です。

◇委員会開催

第1回：平成27年6月13日（土）午後1時～5時
（東京航空会館会議室）

第2回：平成27年9月12日（土）午後1時～5時
（東京航空会館会議室）

第3回：平成28年2月20日（土）午後1時～5時
（佐賀ワシントンホテルプラザ会議室）

◇今後の予定

- 平成27年度より検討を開始した「評価単位」について、成果物を取り纏めます。
- 平成27年度に理事会の要請を受けて試みに取り組んだ「研修事業」（①実践的出前研修、②e-learning 研修等）について、当委員会としての関与の仕方を明確にしていきます。
- 「評価単位」についての成果物を取り纏めた後の、競売不動産評価基準・競売評価書標準書式の運用の深化に関する新たな研究課題について検討します。

◇その他

研修事業については、平成27年7月～8月にかけて各評価事務研究会単位でそれぞれ実施している研修の内容と研修ニーズについてアンケート調査を実施済みです（次ページ取り纏め結果ご参照）。

当委員会としては、本来の活動である競売不動産評価基準・競売評価書標準書式の運用の深化に関する研究活動と、研修事業への関与との共存が可能かどうか慎重に検討してまいり所存です。

(参考)

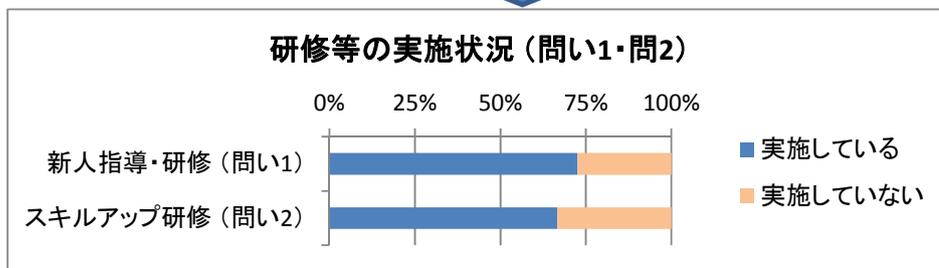
研修に関するアンケート結果 (平成27年度 第2回評価基準委員会で集約されたもの)

全国

問1・問2…研修等の実施状況(数字は該当する評価事務研究会の数)

〔実数表示〕	新人指導・研修(問い1)	スキルアップ研修(問い2)
実施している	37	34
実施していない	14	17

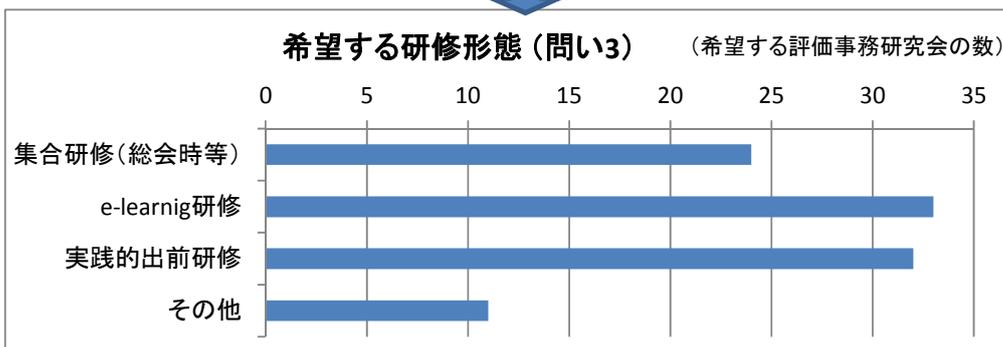
〔%表示〕	新人指導・研修(問い1)	スキルアップ研修(問い2)
実施している	73%	67%
実施していない	27%	33%



※研修等には、裁判所との共同開催による研修・協議会等を含む

問3…希望する研修形態(数字は該当する評価事務研究会の数)〈複数回答可〉

集合研修(総会時等)	e-learnig研修	実践的出前研修	その他
24	33	32	11



希望する研修形態…「その他」の主な内容

- ・高裁ブロック単位での集合研修
- ・総会とは別に東京などに希望者を集めて研修を行う
- ・講義をDVDなどに録画し、配布する
- ・新評価人の義務的研修を総会の前日午後又は総会の午前中に開催
- ・集合研修のあと、各テーマで分科会(小会議)方式とし、各自の参加したい分科会にランダムに参加
- ・(意見)総会時の研修は時間が足りない。E-ラーニングは「絶対聞く」という姿勢がないと意味が無い。
- ・研修の動画ファイルをKBネットHPに置いて閲覧できるようにする
- ・(意見)全員が公平に参加できる仕組みが望ましい
- ・(意見)新人研修、スキルアップ研修を区別して行ってほしい 等